

Exastro-ITA_【参考】インストール時の各コンフィグ設定値

4. ITA設定ファイル説明

No.	インストールシステム／連携ドライバ						設定ファイル名	説明
	ITA-BASE	Ansible	Ansible Tower	Cobbler	Terraform	CI/CD For IaC		
1				○			(ITAインストールディレクトリ)/ita-root/conf/backupconf/cobbler_driver/path_DATA_RELAY_STRAGE_side_Cobbler	Cobblerサーバにて、データリレイストレージのルートパスを定義。
2	○						(ITAインストールディレクトリ)/ita-root/conf/backupconf/ita_base/data_portability_running_limit.txt	データポータビリティの、インポート処理の実行時間制限値。 設定値を過ぎて実行中の処理は失敗と判定する。 単位は秒。デフォルトは300を指定。
3	○	○	○		○		(ITAインストールディレクトリ)/ita-root/conf/backupconf/ita_base/hide_menu_column_list.txt	代入値自動登録設定の項目表示から除外するカラムを記載する。 「#」始まりの行は無視される。
4	○	○	○	○	○	○	(ITAインストールディレクトリ)/ita-root/conf/backupconf/ita_env	バックヤード機能のログレベルとITAのルートディレクトリ(ita-root)を記載する。
5	○	○	○	○	○	○	(ITAインストールディレクトリ)/ita-root/conf/backupconf/path_PHP_MODULE.txt	PHPモジュールのパスを記載。 例：/bin/php
6	○						(ITAインストールディレクトリ)/ita-root/conf/backupconf/sysmail.list	システムメール(ky_mail)を利用する場合の設定を記載する。 ※ITAのメール送信機能(ky_mail)を利用しない場合は不要。
7		○	○				(ITAインストールディレクトリ)/ita-root/conf/commonconf/ansible_vault_accesskey.txt	ansible-vaultコマンドのパスワード パスワードの変更は、ITAインストール直後のみ動作保証しています。 運用中に変更したり、パスワードが一致して環境へのメニューエクスポート・メニューインポートは動作保証していません。 例：「ANSIBLE-VAULT-PASSWORD」を暗号した文字列。 暗号仕様については※1を参照
8	○						(ITAインストールディレクトリ)/ita-root/conf/commonconf/app_mail_from.txt	WebDBCoreからシステムメール(ky_mail)を利用する場合に、送信元アドレスになる。 ※00_loadtable.phpにアクション契機でメール送信する場合。 ※ITAのメール送信機能(ky_mail)を利用しない場合は不要。
9	○	○	○	○	○	○	(ITAインストールディレクトリ)/ita-root/conf/commonconf/app_msg_language.txt	ITAの使用言語を定義する。 日本語の場合は「ja_JP」を記載。
10	○	○	○	○	○	○	(ITAインストールディレクトリ)/ita-root/conf/commonconf/db_connection_string.txt	MySQLへの接続文字列。 例：「mysql:dbname=ITA_DB;host=localhost」を暗号した文字列 暗号仕様については※1を参照
11	○	○	○	○	○	○	(ITAインストールディレクトリ)/ita-root/conf/commonconf/db_model_string.txt	RDBの種別を定義。 0：OracleDB 1：MySQL/MariaDB
12	○	○	○	○	○	○	(ITAインストールディレクトリ)/ita-root/conf/commonconf/db_password.txt	MySQLの接続パスワード。 例：「ITA_PASSWD」を暗号した文字列。 暗号仕様については※1を参照
13	○	○	○	○	○	○	(ITAインストールディレクトリ)/ita-root/conf/commonconf/db_username.txt	MySQLの接続ユーザ。 例：「ITA_USER」を暗号した文字列。 暗号仕様については※1を参照
14	○	○	○				(ITAインストールディレクトリ)/ita-root/conf/commonconf/path_ANSIBLE_MODULE.txt	ansibleコマンド(ansible-playbook/ansible-vault)がインストールされているパスを記載。 本サンプル⇒「/usr/local/bin」を記載

Exastro-ITA_【参考】インストール時の各コンフィグ設定値

4. ITA設定ファイル説明

No.	インストールシステム／連携ドライバ						設定ファイル名	説明
	ITA-BASE	Ansible	Ansible Tower	Cobbler	Terraform	CI/CD For IaC		
15		○					(ITAインストールディレクトリ)/ita-root/conf/restapiconfs/ansible_driver/accesskey.txt	AnsibleサーバのRestAPIに使用するアクセスキー。 例：「AccessKeyId」を暗号した文字列 暗号仕様については※1を参照
16		○					(ITAインストールディレクトリ)/ita-root/conf/restapiconfs/ansible_driver/secret_accesskey.txt	AnsibleサーバのRestAPIに使用する秘密キー。 例：「SecretAccessKey」を暗号した文字列 暗号仕様については※1を参照
17		○					(ITAインストールディレクトリ)/ita-root/conf/restapiconfs/ansible_driver/ansible_playbook_watch_time.txt	AnsibleサーバのRestAPIでansible-playbookコマンドの稼働確認を行う周期を記載。(単位: ミリ秒) この周期で、最大3回まで稼働確認を行う。 例：「10」
18	○						(ITAインストールディレクトリ)/ita-root/conf/commonconf/admin_mail_addr.txt	システム管理者の連絡先(メールアドレス)を記載。 ファイルが無い場合 ⇒「管理者へ連絡」といったリンクが無くなる
19	○						(ITAインストールディレクトリ)/ita-root/conf/webconf/ExternalAuthSettings.ini	ActiveDirectoryの連携先情報を記載。
20	○						(ITAインストールディレクトリ)/ita-root/conf/webconf/path_HTML_AJAX.txt	HTML_AJAXのパスを記載。 例：/usr/share/pear/
21	○	○	○	○	○	○	(ITAインストールディレクトリ)/ita-root/conf/webconf/path_PhpSpreadsheet.txt	Phpspreadsheetのパスを記載。 本サンプル⇒「/usr/share/php」を記載
22						○	(ITAインストールディレクトリ)/ita-root/conf/backyardconf/CICD_For_IaC/gitCommandResultParsingStringDefinition.ini	CI/CD For IaC機能でgit pullコマンドの結果(標準出力)から資材の差分なしを判定する為の文字列を正規表記で記載
23						○	(ITAインストールディレクトリ)/ita-root/conf/backyardconf/CICD_For_IaC/innodb_lock_wait_timeout.txt	ロック時のタイムアウト時間(単位:秒) CI/CD For IaC機能のプロセスで使用するMariaDBのパラメータ 「innodb_lock_wait_timeout」の設定値を記載

※1 base64エンコード後、rot13で変換した値。以下のコマンドで作成
echo -ne "（変換したい文字列）" | base64 | tr 'A-Za-z' 'N-ZA-Mn-za-m'